

第1回日本骨免疫学会 骨免疫自然共生研究会 学術集会

日時 2024年9月3日～6日

学術集会長 高見正道（昭和大学 歯学部歯科薬理学）

場所 ザ・シーン奄美（鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈970）

目的 昆虫、珊瑚、腸内細菌をモデルとした形態形成や共生のメカニズムに関する最新の研究成果を発表し、活発な議論を通じて、この分野の研究を深化させる。本学会を通じて、奄美大島の豊かな自然環境を活かした研究の推進を図り、学術の発展に寄与することを目的とする

参加費 3泊：11万円

※宿泊ホテルについては、アマミホシゾラビレッジ ヤドリ浜または、近隣の宿泊施設となります。

内訳

宿泊日数	参加登録費	宿泊費
3泊	8万円	3万円

※参加登録費には、学会への参加、発表、討論を含みます。

※宿泊費は1泊につき1万円となります。3泊で3万円、2泊で2万円となります。

※食事代は含まれません。

・食事代：朝食1,000円・夕食3,000円（1回につき）

※お食事代は、現地で徴収させていただきます。

スケジュール

9月3日（火）

講演① 18：00～18：15 高柳 広「骨免疫学の歴史と展望」

講演② 18：15～18：30 塚崎雅之「がんの進展を骨膜が止める！」

9月4日（水）

リサーチトピックスセッション 11：00～15：00（高見正道、宮本健史、丹羽隆介、松永幸大、深津武馬、宮脇敦史、塚崎雅之、高柳広、細沼雅弘、Warunee Pluemsakunthai）

「重重要論文紹介と最新研究成果発表」

- 講演③ 18:40～18:55 宮本健史「骨肉腫と骨免疫」
講演④ 18:55～19:25 丹羽隆介「骨のない昆虫におけるカルシウム恒常性制御メカニズム」
講演⑤ 19:25～19:55 松永幸大「自然共生現象を模倣した動植物ハイブリッドの創製」

9月5日(木)

- 講演⑥ 10:00～10:15 細沼雅弘「破骨細胞の三次元解析」
講演⑦ 10:15～10:30 高見正道「歯と破骨細胞」
講演⑧ 11:00～11:30 深津武馬「延長された表現型の進化」
講演⑨ 11:30～12:00 宮脇敦史「TBA」
Meet the expert セッション 15:00～17:00 演者 高柳 広「骨免疫学の歴史と展望」

9月6日(金)

- リサーチトピックセッション 9:00～11:00
哺乳類と昆虫の比較から考えるカルシウムの蓄積器官と動員メカニズム
演者1 Warunee Pluemsakunthai 「マイクロCTによる昆虫のカルシウム研究」
演者2 高柳 広「PTHによる破骨細胞制御とカルシウム動員機構」

お問合せ先

日本骨免疫学会 事務局

Email : osteimmunology.society@gmail.com